

## リハビリランド 支援プログラム

### ① 健康・生活

#### 健康状態の確認

来所時にスタッフが笑顔でお子様とコミュニケーションを取りながら、顔色や体温、呼吸の様子を確認します。異変が見られた場合には、医療機関と連携しながら迅速に対応します。また、感覚に基づいた表現力を育むため、「暑い」「寒い」「痛い」などの感覚を伝える練習もサポートします。

#### 基本的な生活スキルの支援

食事や排泄といった日常生活動作をスタッフが一緒に行いながら、少しずつできることを増やしていきます。例えば、食事ではスプーンや箸を持つ練習から始め、徐々に自分で食べ物を口に運ぶ動作へとステップアップします。排泄については、トイレに行く時間や感覚を意識できるような取り組みを進めます。

### ② 運動・感覚

#### 身体の動きのサポート

バランスボールやブランコ、ストレッチなどを活用し、スタッフと一緒に楽しく体を動かせる時間を提供します。これにより、粗大運動や微細運動の発達を促し、お子様一人ひとりの身体能力に合わせた活動を行います。

## 感覚の発達支援

触覚や視覚などの感覚刺激に慣れるため、光る玩具や柔らかい素材のボールなど、安心して使える教材を活用します。お子様が自分のペースで楽しめる環境を整え、感覚の適応力を育てます。

### ③ 認知・行動

#### 日常的な課題へのチャレンジ

簡単なパズルや選択肢のある活動を通じて、「どうしたらうまくいくかな?」と考える力を育みます。課題に取り組む中でスタッフが適切にサポートし、達成感を得られるよう工夫します。

#### 落ち着いた行動の練習

環境の変化や不安を感じる状況でも、スタッフの声掛けや安心できるアイテムを活用して、お子様が気持ちを落ち着けられる方法を一緒に見つけ、くり返し練習をします。特に、一人ひとりのペースに合わせた個別対応を心がけます。

### ④ 言語・コミュニケーション

#### 自己表現の支援

お子様の言語発達や表現力に合わせて、気持ちや要求を伝える練習を行います。「〇〇が欲しい」や「もっとやりたい」など、簡単な表現をくり返し練習し、意思伝達の力を伸ばします。

## 自分に合ったコミュニケーション手段の活用

言葉以外でも伝えられるように、ジェスチャーや絵カード、タブレットを使った支援を行います。お子様が自分に合った方法で思いを伝えられるよう、幅広い手段を提案します。

## ⑤ 人間関係・社会性

### お友達との交流

スタッフの見守りの中で、他のお子様との交流や一緒に遊ぶ時間を設けます。共同作業やグループ活動を通じて、協力する楽しさや人とのつながりを感じられるよう支援します。

### 社会的ルールとマナー

順番を守る、挨拶をするなど、日常生活で大切なルールを楽しい活動を通じて練習します。ゲームや歌を取り入れた学びの場を設け、お子様が自然に身につけられるようサポートします。